

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	術後疼痛管理チーム介入による術後疼痛の強さや治療内容に関する調査
研究責任者	石田恵章
研究実施体制 (研究分担者)	術後疼痛管理チーム 麻酔科 鳥羽好恵 手術室センター 土屋真子、小崎由唯、小塚亜由美 薬剤部 柏原聖人 臨床工学室 佐川雅俊
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2027年3月31日
対象者	【対象】術後疼痛管理を受けた入院患者 【選択基準】上記 【除外基準】研究に対して不同意、データ欠損など
研究の意義・目的	現在、当院では術前に麻酔科による外来と看護師による外来が開始され、手術室メンバーが術前に患者に関わる機会が増えました。しかし、周術期という枠組みの中で、術後に関わる機会がありません。手術室メンバーである麻酔科医、手術室・特定看護師、薬剤師、臨床工学技士は手術治療を選択した患者に対して術前・術中・術後を安全で質の良い医療の提供を目指していきたくと考えています。今後はチームで術後疼痛やそれに伴う副作用・合併症に対処することで患者の早期離床・リハビリ、食事摂取を可能にすることができ、ひいては主治医や病棟看護師の負担軽減に繋がると考え、術後疼痛管理チームが立ち上がることになりました。 術後疼痛管理チームの活動に対する成果を検証するために患者の術後疼痛の強さやそれに対する治療内容、また治療に伴う合併症などを調査する。本研究は結果から術後疼痛管理チームの存在意義や有効性を確認することで患者本人へより良い医療を提供できる一因となります。
研究の方法	【研究のデザイン】後方視的観察研究(後ろ向きコホート研究・記述研究) 【方法】対象患者について、麻酔記録・診療録・DPCデータから以下の項目の調査を行う。性別、手術時の年齢・身長・体重・BMI、手術術式、手術診療科、麻酔方法の種類、PCAポンプ使用の有無、術後 NRS、術後嘔気嘔吐(PONV)・シバリング・搔痒感・下肢のしびれ・尿閉・過鎮静の有無、術後に使用した薬剤の種類と投与量、総・術後入院期間、歩行開始日、食事開始日、重篤な合併症(硬膜外血腫・硬膜外膿瘍・神経障害など)の有無など 【評価・解析方法】 χ^2 乗検定、t検定、マンホイットニーのU検定、ロジスティック回帰分析、傾向スコアマッチング解析など

個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 麻酔科 石田恵章 TEL:053-474-2222(代表) 麻酔科外来 9:00~17:00 平日